

こよみ



2011年1月31日

コールセンターからの小さなよみもの



Vol.25

金利上昇

債券の利回り上昇。 ファンドにとっていいの？ 悪いの？



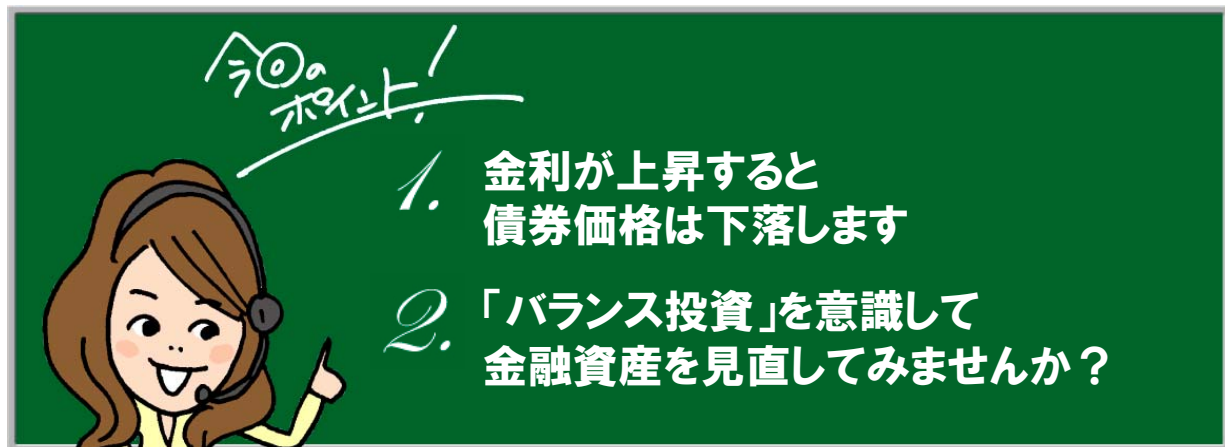
最近、海外債券に投資するファンドをお持ちの
お客さまで「円高に動いた以上に基準価額が値
下がりしている」といった問合せが増えています。
海外債券に投資するファンドは、為替変動に
よる基準価額への影響が目立つため、ひよつと
すると債券価格の変動による基準価額への
影響を意識していない方も多いのではないで
しょうか？

そこで今回皆さまには、債券価格の変動につ
いて確認するとともに、これからの投資戦略を立
てる参考として、次の2点を押さえていただきた
いと思います。

1. 金利が上昇すると
債券価格は下落します
2. 「バランス投資」を意識して
金融資産を
見直してみませんか？



コールセンターからの小さなよみもの



1. 金利が上昇すると 債券価格は下落します

最近、いくつかの国で、じわりじわりと国債の利回りが上昇しています。例えばアメリカは、2010年秋にお金の流れを良くするための追加金融緩和策が打ち出されたり、減税策の延長が決まったことなどにより、将来の景気の見通しが明るくなり、その結果、国債の利回りが上昇しました。

一般的に景気回復期待が高まると、投資家はリスクを取って投資しようとするので、株式などにお金流れます。すると、株式に比べて魅力の低い債券は売られやすくなり、債券価格が下落します。債券は満期で受け取る額面やそれまでの利息が一定なので、債券価格が下落することによって、理論上、債券の利回りは上昇することになります。

“債券の利回り上昇”と聞くと、なんとなくファンドにとっていいことのように聞こえるかもしれませんが、必ずしもそうとは限りません。それは、ファンドが“既に保有している債券”の価格の下落を意味するからです。



コールセンターからの小さなよみもの

でも、プラスの面もあります。それは、“新たに購入する債券”は以前より高い利回りの債券になるからです。

つまり、債券を保有しているファンドをお持ちのお客さまにとって、世の中の金利が上昇する局面、つまり、債券利回りの上昇局面は、“既に保有している債券”の価格の下落によるマイナス面と、“新たに購入する債券”の利回り上昇というプラス面があり、プラスマイナスの綱引きのような状態となり、一概にいいとも悪いともいいにくい局面です。

しかし、その“綱引き”のファンドへの影響度合いは、組入れられている債券の満期までの長さで比較することができます。組入れられている債券の満期までの長さが短ければ短いほど、金利上昇による債券価格の下落は抑えられます。反対に組入れられている債券の満期までの期間が長ければ長いほど、金利上昇による債券価格の下落幅は大きくなります。

既に保有
債券価格の下落

金利上昇

新たな機会
債券利回りの上昇

なお、この話は為替にも影響する場合があります。金利上昇の背景が景気回復への期待であれば、その国への資金流入などにより、通貨高になる可能性があります。つまり、海外債券に投資するファンドであれば、投資国の通貨高によって、為替差益が得られる局面といえます。



コールセンターからの小さなよみもの

2. 「バランス投資」を意識して 金融資産を見直してみませんか？

ところで、景気回復局面における投資戦略として、プラスマイナスの綱引きのような状態である債券ファンドのみに投資する、という戦略をとることは、最適なものなのでしょうか。

やはり、景気回復局面に活躍する資産は、債券より株式といえます。昨年末から、アメリカの景気見通しが明るくなったことで、アメリカの株価は上昇傾向にあります。日本の株式も、世界の株式に比べて出遅れているといわれていましたが、最近再び世界の投資家の注目を集めています。

もちろん、だからといって、今日から全て債券から株式へ移行しよう、というのも短絡的です。南欧諸国など財政赤字問題を抱える国の存在や、中国の金融政策の動向など、不安材料も多くあります。

そんな今だからこそ、投資の原点ともいえる「バランス投資」に立ち返ってみてはいかがでしょうか。債券をメインとしつつも、“そろり”と株式やREITにも目配りをしていく。そんな「バランス投資」を意識して、皆さまの金融資産も見直してみてはいかがでしょうか。

ご不明な点、気になる点などがありましたら、
ぜひ日興AMコールセンターまでお問合せください。

nikko am

コールセンター

0120-25-1404

営業時間 平日 9:00~17:00

